

続・石材店に行く前に選ばれる



墓石工事契約等 ガイドライン

石産協ホームページの加盟店検索に「墓石工事契約等ガイドライン」の登録業者が掲載されるようになりました。誓約書を提出した会員にはマークが付与され、「この業者さんガイドライン登録しているんだ、安心だ」と一目でわかるようになっていました。石産協のお墓なんでも相談室には、石材店を紹介してほしいというご要望もありますが、お住まいや墓地近隣の石材店をホームページから検索できることをご案内しています。お墓ディレクター資格取得に並び、ガイドライン遵守事業者も石材店を選ぶ基準になると思います。会員からは「お客さまに説明できるようなパンフレットはないの?」というお問い合わせがありますので今後は、会員外への告知を始めるタイミングで作成する予定です。引き続き遵守登録者を募集しています。[顧客満足推進委員長 大北和彦]



社内の
みなさまで
回覧して
ください

2022年
1月15日発行
(隔月15日発行)

第2回 墓石部会 「お墓の地震対策セミナー」

12月9日(木) オンラインセミナー
参加者:39名

東日本大震災を経験した講師の関根哲也氏(福島県 関根石材店)から、日々研究と努力を重ねた地震に強いお墓づくりの企業秘密の施工をご披露いただきました。また、当会が推進する独自の地震保険サービスについて、メリットと活用方法を損保ジャパンから説明。PR活動を心掛けていますが、認知度が低く、残念ながら、登録者数が少ない状況です。お墓ディレクター資格や、ガイドライン遵守事業者に続き、地震保障サービスも石材店を選ぶ一つの判断基準として広めていきたいと思っています。ぜひご検討ください。[墓石部会長 鈴木一成]



第3回 建築・環境部会 in北木島

12月17日(金)
参加者20名(オンライン8名を含む)

当部会では建築タイル石材市場動向を中心に、特定技能外国人制度や建築石材業界についての情報交換を行っています。今年度は香川県庵治産地、岡山県北木島へも出向き、採石場の見学も行いました。また、現地参加がかなわない方にも多くご参加いただきたく、不慣れではありますが、オンラインも併用し、開催しています。北木石を採石している鶴田康範氏(岡山県 鶴田石材(株))に国産石材の需要状況などを伺い、墓石に限定されない石材需要の広さを深く知ることができました。また、部会員からの要望を受け、来年度の開催に反映したいと思っています。ぜひご参加ください。[建築・環境部会長 棚瀬健教]



石産協通信は
Webでも
閲覧できます。

石産協HP
(会員ページ)

ログインID:
groupjapan

パスワード:



石産協ヒストリー 「Road to the 20th」第一弾

INTERVIEW

(一社)日本石材産業協会 初代会長

井口健二氏



Interviewer
有限会社 川本商店
川本 雅由

Interviewee
株式会社 井口石材
井口 健二

20周年記念事業
「石産協ヒストリー」

インタビュー
動画は
こちらから▶



ー 日本石材産業協会はこういった目的で、 どのような人々によって作られたのか？

石産協以前に小売店、加工メーカー、採石、建築の各団体が集まって開催した『ジャパ
ンストーンフェア』がありました。当時は同じ業界でも横の情報は流れにくい状況で
したので、各団体からエンドユーザーに様々な情報を与えられる場を作ろうと声があ
がり、行われたのです。その後、エンドユーザーに対して正しい情報を伝える、また、業
界とエンドユーザーの間に入ってニュートラルな立場で物事を判断できる団体にし
たいという思いがあり、日本石材産業協会が立ち上がりました。また、石材業界に携わ
る方に業界が一つの大きな力でその活動をバックアップしていく目的もありました。



発足までの経緯、目的を明確にし、
価値観を共有

ー 初代会長、二代目、三代目と繋がってきた会長の役割とは？

私の場合は、集まってくれた人達と考えた目的に向かい、発信することでした。電車で
例えるなら、線路を引くために何も無い原野の中で石をどかして整地して、みんな
で手探りしながら場を作りました。線路を走る電車が目的もなく無作為に走るのでは
なく、年数を決めて、時刻表を作ったのが二代目会長の射場さんだと思います。いざ電
車を走らせると「時刻通り来ない」「どこに向かって走っているのか」など色々な意見
が出る中で進めていかれたのはご苦労があったと思います。三代目会長の森田さん
は、時刻表の上で進み始めている中で、さらに駅をどこに作るのか、どこに人がたく
さんいるのか、路線をどこまで伸ばすのか、社会の情勢を見ながら石産協をどこにも
ていくのかが、現在の森田さんのなさっていることだと思います。



歴代会長の役割と今後取り組むべき問題

ー これからの石産協をどうみているか？～属す意味、参加する意義

私が一番悔しいと思ったのは、経済産業省が分類している品目のうち墓石が日用品の「その他」に分類されてしまっ
ていることです。墓石は歴史がある業種ですので、出来れば固有の分類として認められるようになってほしいです。そうなる
ためには、多くの人から信頼を受ける業界にならなくてはなりません。また、そのような業界にするには真摯な気持ちで
業務が出来る人を集めなければならないと思います。そのために、石材のことだけでなく、宗教観や歴史などある一定の
知識を持っていただきたいと「お墓ディレクター資格試験」を立ち上げました。それがエンドユーザーに情報を与えられ
ることにつながると思います。

ー 未来の石産協を担う人に期待すること～若手が集まりやすい協会に

父が亡くなったのは私が26歳の時で、当社は職人さんが2人だけの会社でした。教えてもらえる石屋さんも周りにおら
ず、孤独でした。独りぼっちだと考え方が狭くなってしまいます。石産協はお墓ディレクター試験に限らず、研修会や委員
会、部会など、様々な活動をしています。それに参加し、人とのつながりを持ってほしいです。人付き合いをしていると助
かることが必ずありますので、若い人には特に、石産協の各事業にどんどん参加していただきたいです。



ウラバナシ

実はこのインタビュー2日間、2回に分けて行われました。といいますが、データが壊れ、(正直焦りました)
改めて日を設けていただいたのです。当日は、読者に楽しんでいただくと、大塚実行委員長の案でチョビ髭を
付けて臨みました。しかし、始めて5分経っても気付いてもらえず、肝が冷える思いでしたが、ようやく気づ
いてもらえ、笑顔をいただけたので救われました。石産協ができた当時、私は8歳です。当然、業界について知る
由もなく、これまでも過去を知ることもなく石産協に参加していません。井口氏から「今があるのは、正しい過去
があるから」と伺い、深く実感し、私がすべきことも明確に見えてきた気がします。機会をいただき、優しくお
話しいただき、ありがとうございました!! [20周年記念事業実行委員会 川本雅由]

20年かけて一歩ずつ進んできた日本石材産業協会。6月17日(金)に行われる20周年記念事業に合わせ、当時のリーダー達か
どんな困難を乗り越え、情熱と希望を胸に、何を想い、何を望んで立ち上げたのか、20周年の節目に貴重なお話を伺いし
ていきます。次世代へのメッセージなど、4回に亘り連載します。



えんどう けんじ
遠藤健司さん
 「岩手県支部長」岩手県／(株)遠藤石材
震災を経験し気づく、仕事への使命

生まれた時から三代目と言われ、なんとなくいづれ継ぐのかな...くらいに思いながら育ちました。家を離れたと思い東京の大学を選び、バブル期に就職をして27歳の時に戻りましたが、石の勉強はもとよりお墓の勉強もせず、仕事よりもJC等同年代の仲間と活動することが優先されていました。私の仕事に対する価値観を大きく変えたのは2011年の東日本大震災でした。生き残った人々にとってのお墓への思いを目の当たりにしたとき、今まで石は売っていてもお墓を売っていないことに気づきました。お客さまがお墓の前に立ち、そこにご先祖や兄弟、子どもを感じ家族が幸せになれる。過去現在未来を繋ぐ命の大切さ、心豊かな人々が暮らす地域を作ることが私の夢です。



私の地元
 これが
 おススメ!

4万本の植樹が終わった
 高田松原(50年後が楽しみです。)

わたしの夢

my Dream

この想いを夢のバトンに託して、
 出来るだけ多くの人に手渡したい。



かね こじゅんじ
金子詢治さん
 長崎県／金子石材店
お墓を守り、故郷を守る

石都岡崎で修業を積ませていただき、地元島原の石工になった私は改めて故郷の墓所を見渡した時にふと、寂しく感じました。もちろん立派なお墓も立ち並んでいるのですが、草木が生い茂り長く手の入っていない墓所等が見られ、なんかもっと活気があって明るげな場所にしたいなあと、勝手ながらそんな思いを抱いておりました。そんな中でこれから先私が石工として生きていく上での夢は、地域のみなさまと共に墓守をしていく、それをまた次の世代につなぐ事です。当店もご先祖様から五代、つないできていただきました。感謝です。地域の墓々も代々守られてきた証だと思います。その想い思いを守っていくお手伝いをさせていただけたら、なによりです。お墓を守っていくことは、故郷を守ることに繋がると信じています。



私の地元
 これが
 おススメ!

「雲仙ハム」
 「ガンバ(フグ)の湯引き」

【中国・四国地区】

中国四国地区 全体会議 in 徳島

11月11日(木) 徳島県徳島市 参加者:71名

コロナ禍の緊急事態宣言発出のため何度も延期し、話し合い、ようやく開催することができました。せっかくなら、みなさまに喜んでいただけるよう、安心、安全の場を整えようと奮闘し、参加者にも感染対策にご協力いただき、無事終わることができました。中野晋先生による講演「南海トラフ巨大地震と災害時事業継続」では、災害時や防災について知識を深め、懇親会でも多様な意見を交わし親睦を深めることができ、大変実りのある会議だったのではないかと思います。ありがとうございました。

[徳島県支部長 磯村稔]



第13回 石材加工講習会

2022年2月5日(土) 10時受付開始

場所: (株)北島字彫工業(茨城県桜川市真壁町細芝10-6)



コロナ禍のため、実施を延期しておりましたが、再開が決定しました。研修内容は墓石小売店向けの戒名現場彫り体験です。出張文字彫加工の初心者にもわかりやすく、今後の業務にもつながります。コロナ対策を心掛け、参加のみなさまにもご理解いただき、有意義な研修にしたいと思っています。ぜひご参加ください。また、今回はオンラインの実施はありませんが、次年度は西日本地区でも開催を予定していますので日程が決定しましたらご案内いたします。(詳細は同封パンフレット参照) [加工部会長 戸松政洋]

広告協賛募集



20周年記念事業実行委員会では、20周年記念誌を発行いたします。1度目を通すだけではもったいない、何度も繰り返し、手に取っていただけるような記念誌作成を企画しています。そこで、**広告協賛を募集**しますのでぜひご協力ください。(詳細は決定次第ご案内します)

新入会員紹介

会員数: 1,147名
 (2021.12.10現在)

地元やお取引先の石材店をご紹介ください。全国組織のネットワークを通じて、石材業界を盛り上げていきましょう。

三重県

(有)石慶
 会員代表: 水谷真二
 設立: 大正元年1月
 業種: 加工、墓石

岡山県

(株)KAWATA
 会員代表: 河田克久
 設立: 平成21年1月
 業種: 関連



2022年のお墓ディレクターは 虎嘯風生だ! ガオー!!



みなさま、新年おめでとうございます。毎年のように災害が続く日本列島。復興めざし頑張っていた矢先にコロナ禍と、前虎後狼な状態に何度も心折られそうになった昨年。お墓ディレクター委員会も主にリモートで会議を重ねてきましたが、頼もしいメンバーのおかげで離れていても竜吟虎嘯、第17回お墓ディレクター検定を昨年11月22日に全国3会場で無事開催することができました。可否の結果は1月中旬にお手元に届きます。受検者のみなさま、ドキドキしながらお待ちくださいませ。次に、今年度の資格更新の時期がまいりました。今回の更新対象者は認定番号「06-」「11-」「16-」で始まる方です。対象者のみなさまには手続き書類一式を2月上旬までにお送りします。締め切りは、2022年3月31日(木)当日消印有効です。いかなる場合も締め切りを過ぎた到着の救済はいたしかねます。資格失効の際には、2級から受検していただくこととなりますので予めご了承ください。実は私、過去に更新を失念して2級から受け直しました。どんな救済もないのは私が証明です(笑)。最後に、2022年2月22日開催の毎年恒例1級資格取得者研修会のお知らせです。供養に対する価値観が急速に多様化し、マスコミや一般生活者など供養業界以外からも墓埋法の改定の必要性が認識され始めています。われわれも現場で法律の違和感を幾度となく感じる今日この頃。ここは専門家にドドンと聞いてズバツと答えてもらいましょう。「ここまで聞いていいの!？」と思うくらいの白熱ぶりが予想される研修会。後半には、いま注目のお墓女子による、世界の葬送事情から、日本の新たなご供養スタイルの参考になるお話をさせていただきます。今年も完全リモートで行います。現場から、事務所から、ご自宅から、どこからでも参加できますので、1級取得者のみなさま、ふるってご参加くださいませ。[お墓ディレクター委員長 小野純子]

【北海道地区】

出来ない時こそ、次にやれる準備を

北海道は雪の季節に入り、大部分が約4か月間、外現場仕事が出来ません。このハンディを背負っている為、全国の石屋さんがうらやましくさえ思えます。でも嘆いてばかりでは「是非に及ばず」、前に進みません。知恵の出どころです。夏になかなか会えない分、冬場に極力交流を心掛けてアイデアを出します。北海道生まれの人を「道産子(どさんこ)」と呼びますが、まさしく、道(いろいろな道)を産(切り開く)む気概で活動しています。支部活動の主として、幸ふくろう運動(児童施設への石寄贈)・Sルーム(時に応じた寺子屋学び舎)・お墓なんでも相談室。2月の地区全体会議では、会員に役立つ情報も提供します。ご興味のある方は食べ物美味しい、空気も新鮮な北海道に来てリフレッシュしてみてくださいね! 私の好きな言葉のひとつ、『たとえ波が去ったとしても、準備している人間には、きっとまた波がやって来る』。出来ない時こそ、次にやれる準備があるはず。コロナ禍の厳しさは続きますが、前へ! [北海道地区長 三上貴康]



災害協定締結

愛媛県支部では、11月8日に今治市、11月24日に松山市との災害協定を締結しました。各支部でも地元自治体などと災害協定について話し合いを進めています。締結はその都度ご報告いたします。

[災害対策本部]



部会・委員会活動 2022年1月～3月

▶ 1月18日(火)・東京+Zoom

関連部会

▶ 1月19日(水)・東京+Zoom

20周年実行委員会

▶ 1月19日(水)・東京+Zoom

輸入・卸商部会

▶ 1月26日(水)・東京

広報委員会

▶ 1月26日(水)・Zoom

女性ネットワーク委員会

▶ 2月5日(土)・茨城県桜川市

第13回石材加工講習会

▶ 2月16日(水)・東京

CS委員会

▶ 2月17日(木)・東京

採石・原石、加工合同部会

▶ 2月22日(火)・Zoom

お墓ディレクター1級取得者研修会

事業案内 2022年1月～3月

ホームページにカレンダーが掲載されています。日程の変更は随時お知らせします。

▶ 1月20日(木)・東京+Zoom

第6回正副会長会議

▶ 2月17日(木)・東京+Zoom

第3回理事会

▶ 2月21日(月)・北海道札幌市

北海道地区全体会議in札幌

▶ 3月10日(木)・東京+Zoom

第7回正副会長会議

石屋ならではの
LINEスタンプ

他にも“使える”
LINEスタンプが
計40種

頑張り屋

石を愛するコミュニティ

一般社団法人
JSIA 日本石材産業協会
The Japan Stone Industry Association

東京都千代田区神田多町2-9 日計ビル2階
Tel: 03-3251-7671 Fax: 03-3251-7681
https://www.japan-stone.org/
企画・編集・発行: 広報委員会

PRAY for (ONE)

編集後記 お墓が出来上がると安心される一方で、一抹の寂しさを感じられることがある。遺骨を手放しいよいよ現世でのお別れという理由もあるがさらに、お墓が完成することは故人の事を思う一番濃密な時間を卒業することなのかもしれない。[広報委員会 小田和比古]

北海道地区全体会議

2022年2月21日(月) 札幌市

テーマ: これからの『石屋さんの歩き方』～未来顧客の作り方・育て方～

「お客さまのここをつかむ秘訣とは・・・!?」地域に密着した活動を通して、顧客創造を実践している石材店の理論・実例から学び、これからの石材店が取り組む方策を探ります。現場仕事ができない冬こそ、じっくり学び、交流し、春からの活動に備えます。また、コロナ禍の状況により、オンラインに変更することも視野に企画しています。地区会員のための場ですが、ご興味のある方は、ぜひご参加ください。

LINE公式アカウント

まだ登録してないの?



「石材産業の現状と課題」

(主催: 経済産業省資源エネルギー庁)
2021年12月2日(木)

県や市町村の採石許認可を担当する職員に向け、毎年行われている研修に、当会から中村卓史副会長が講師として派遣されました。コロナ禍のためオンライン研修となりましたが、活発な質疑応答が行われました。後日出席者のアンケート結果が報告される予定です。今後も採石業、石材業の広報のため、継続していきます。[採石・原石部会長 鶴田廉範]